

令和 6 年 5 月 30 日現在

機関番号：32621

研究種目：若手研究

研究期間：2020～2023

課題番号：20K13508

研究課題名（和文）介護保険制度における恣意的な給付水準の割り当てに関する研究

研究課題名（英文）A Study on Arbitrary Assignment of Benefit Levels in the Long-Term Care Insurance System

研究代表者

高橋 雅生（Takahashi, Masaki）

上智大学・経済学部・助教

研究者番号：20864599

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：介護保険では、要介護認定員による介護必要度の評価によって利用者への給付水準が決定されるが、外部から個別の認定の妥当性を検証する仕組みが存在しないため、認定員によって恣意的に給付水準が決定されている可能性が指摘されてきた。本研究では、恣意的な操作がされていない場合の介護必要度の分布を一般的な仮定のもと復元し、観察される分布と比較することで給付水準の操作が介護費に与える影響を推定した。恣意的な給付水準の決定により3パーセントほど介護費が上昇しているという結果を得た。また利用者やケアマネージャーの属性別に検証を行い、サービス利用が多い利用者ほど恣意的な認定の影響を受けやすいことを明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

多くの社会福祉プログラムは、対象となる個人を選別するためにミーンズ・テストを行っている。経済的に不利な立場に置かれている人々の生活は福祉プログラムへの参加資格や手厚さによって大きく左右されるため、こうしたミーンズ・テストはこれらの人々にとって重大な意味を持つプロセスである。福祉へのアクセスがミーンズ・テストの結果に依存することは、その検査結果の裁量に関する懸念を生む。ミーンズ・テストを担当する者が、政治的・経済的利益のために結果を操作し、裁量で特定の個人にプログラムの資格を与える可能性がある。本研究は介護保険におけるミーンズ・テストが検査員の裁量によって歪んでいることを示唆するものである。

研究成果の概要（英文）：Using administrative data of the public long-term care insurance (LTCI) in Japan, we document novel discontinuity and bunching in the distribution of health scores that determine benefit levels for LTCI. The distribution suggests that LTCI recipients tend to receive more generous benefits than they should because medical examiners manipulate recipients' health score. Our bunching estimation indicates that the manipulation increases monthly long-term care (LTC) expenditures by 5.7% on average. We also find that the vertical integration of examiners into LTC providers have little effects on manipulation, indicating that intrinsic psychological factors are more important than economic factors in the manipulation.

研究分野：公共経済学

キーワード：介護保険

### 1. 研究開始当初の背景

介護保険では、利用できる介護サービスは介護必要度に基づいて分けられた「要介護区分」によって定められ、区分が高いほど給付水準も高くなる。認定員は、それぞれの利用者の介護に必要な時間を指標化した「基準時間」を計算し、その基準時間に基づいて利用者を適切な要介護区分に分類する重要な役割を担っている。一方、認定員以外は利用者の介護必要度を直接観察することができないため、認定員による個別の認定結果の妥当性を外部から検証することができないという問題がある。そのため、認定員が特定の利用者に対してより多くの給付を与えようとする動機を持っている場合、基準時間を恣意的に操作する余地があることが指摘されてきた。

### 2. 研究の目的

本研究は、介護保険における恣意的な給付水準の操作が、介護費と利用者の健康にどのような影響を与えているのかを明らかにし、公平で持続可能な介護保険制度の構築に貢献することを目指す。介護保険では、認定員による介護必要度の評価によって利用者への給付水準が決定されるが、外部から個別の認定の妥当性を検証する仕組みが存在しないため、認定員によって恣意的に給付水準が決定されている可能性が指摘されてきた。本研究では、恣意的な操作がされていない場合の基準時間(介護必要度)の分布を一般的な仮定のもと復元し、観察される分布と比較することで給付水準の操作が介護費と利用者の健康に与える影響を推定する。

### 3. 研究の方法

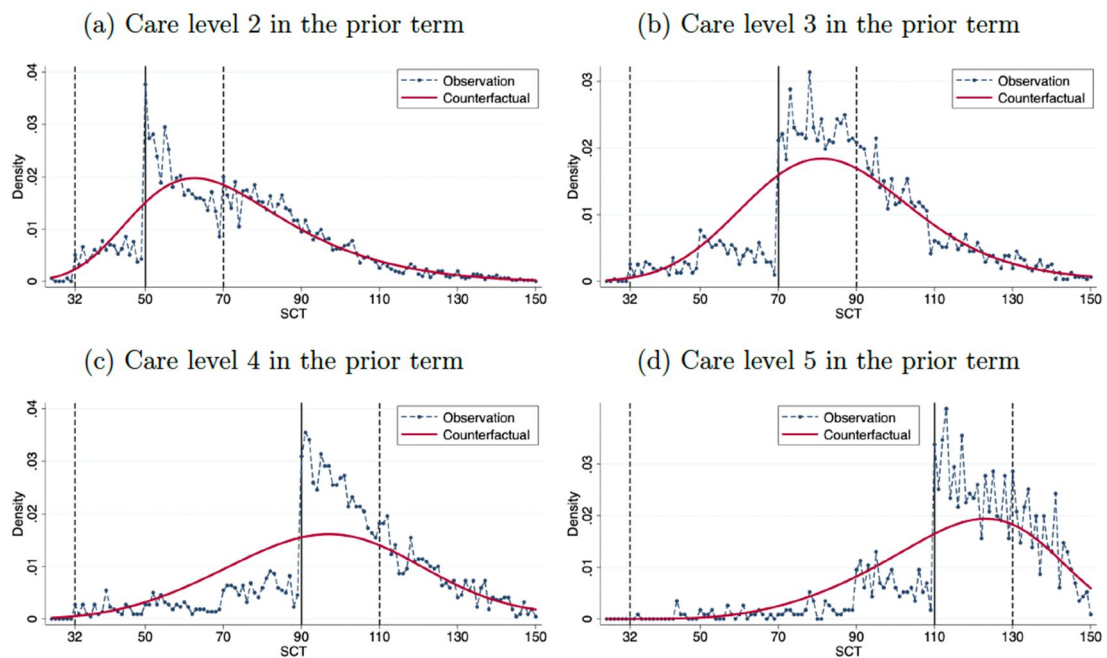
基準時間の操作が介護支出に与える影響を定量化するためには、操作のない基準時間の分布を復元し、観察された支出額と仮想的な支出額を比較する必要がある。実証的な課題は、基準時間の操作範囲が広いことであり、パラメトリック法に基づく従来のパンチング・アプローチでは、信頼できる仮想的な分布を導出できないことである。この問題に対処するため、我々はノンパラメトリックに仮想的な分布を推定する新しい手法を開発した。本手法の重要な利点は、分布の形状だけでなく操作の振る舞いにも柔軟に制約を課することができる点である。例えば、我々の手法では、認定員が意図的に基準時間を増加させることはあるが、低下させることはないことを明示的に仮定することができる。実際の基準時間の分布はこの仮定が妥当であることを示唆しており、この制約を利用することで、もっともらしい仮想的な分布を導出することができる。さらに、認定員や介護サービス利用者の属性別に基準時間の操作の効果を比較することで、基準時間操作の原因を探ることも行った。

### 4. 研究成果

図 1 は、実際の基準時間の分布と仮想的な分布を比較したものである。この図から、

我々が開発した手法によって妥当な仮想的分布が復元されていることが確認できる。推定の結果、基準時間の操作によって介護費が約 3%増加しているという結果を得た。認定員と介護事業者の統合関係の影響を調べるために、認定員が事業者と同法人かどうかをサンプル分けした上で効果を比較した。その結果、認定員と介護事業者の関係にかかわらず、受給者の基準時間は同程度に操作されており、認定員の経済的動機は操作の主要な原因ではないことが明らかになった。同様に、介護の支出が多い受給者と少ない受給者を比較したところ、操作の効果は2つのグループでほぼ同じであった。基準時間が認定員や介護サービス利用者の属性に関係なく操作されるという事実は、認定員が要介護度を下げること自体に心理的抵抗を持っていることを示唆している。

図 1：基準時間の実際の分布と仮想的な分布の比較



5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 1件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 Takahashi Masaki	4. 巻 -
2. 論文標題 Insurance coverage, long-term care utilization, and health outcomes	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The European Journal of Health Economics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/s10198-022-01550-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

SSRN <a href="https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=3784394">https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=3784394</a> SSRN <a href="https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=3784394">https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=3784394</a>
--

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------